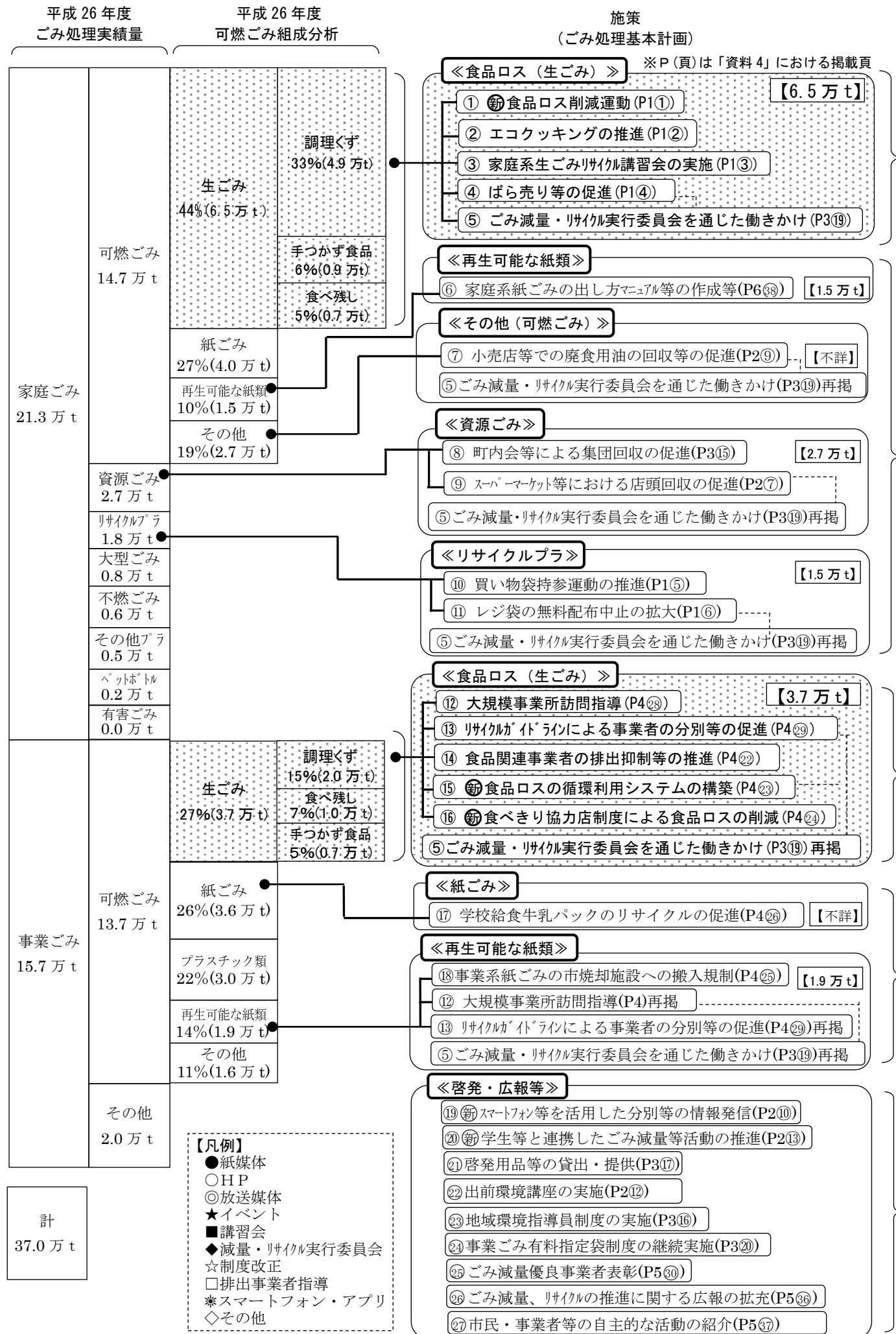




食品ロスの削減等の減量・資源化施策



区分	取組状況		今後の取組	
	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度 (予定)	
食品ロス (生ごみ) 削減対策 (家庭系)	①	◆ごみ減量・リサイクル実行委員会による店頭キャンペーン「ごみ減らそうデー」の実施 ●リーフレット「はじめよう生ごみダイエット」の作成、イベントでの配布 ○市HPコンテンツ「食品ロスを削減しましょう」作成・公開 ◎市政広報番組等による広報	★大規模催事への出席による情報発信「フードフェスタ」、「ガス展」 ●フリーペーパー等への働きかけ ●「市民と市政」(企画面への掲載 (調整中)) ●減量・資源化啓発リーフレット (各戸配付用)の内容を食品ロス削減に特化し、A3版に拡大	★「ロハスフェスタ」(主催者と協議中)
	②	■エコクッキング教室の開催 (5回/年)	★「フードフェスタ」におけるエコレビの配布	■開催回数の増 ○新たに25エコレビを制作、動画配信 ●新エコレビ集の印刷
	③	■生ごみリサイクル講習会の開催 (6回/年) (みみずコンポスト、EM密閉容器、タンポールコンポスト、各2回)	★「ガス展」における各種コンポスト器のPR	■開催回数の増
	④	◆ごみ減量・リサイクル実行委員会を通じスーパーマーケット、百貨店に働きかけ	(同左) ※実行委員会加盟のスーパーマーケット、百貨店 162 店舗中、117 店舗 (72.2%) で実施	(同左)
紙ごみ等削減対策 (家庭系)	⑥	—	—	○検討
	⑦	◆ごみ減量リサイクル実行委員会を通じスーパーマーケット、百貨店に働きかけ	(同左)	(同左)
	⑧	—	☆町内会と再生処理事業者とのマッチングセミナーの開催等の検討	(同左)
	⑨, ⑩, ⑪	◆ごみ減量リサイクル実行委員会を通じスーパーマーケット、百貨店に働きかけ	⑨実行委員会 162 店舗中 158 店舗 (97.5%) で実施 ⑩来店者の 91.3% が買い物袋を持参 (店頭調査) ⑪市内のスーパーマーケット、百貨店 202 店舗のうち、159 店舗 (78.7%) で実施。	(同左)
食品ロス (生ごみ) 削減対策 (事業系)	⑫	□可燃ごみの発生量の多い 144 事業所を訪問指導	□生ごみの排出量が多いスーパーマーケットを訪問指導対象として実施 (119 店舗) □食品ロスの排出状況に関する調査を実施 ◆減量・リサイクル実行委員会との連携	□スーパーマーケットに次いで生ごみの排出量が多い百貨店、ホテル等を中心に実施
	⑬	●平成 13 年度発行版を見直し新たに作成	—	—
	⑭	◆ごみ減量・リサイクル実行委員会を通じスーパーマーケット、百貨店に働きかけ	◇市内食品メーカー、食品卸等に対する規格外商品等のフードバンク等への提供依頼の検討 ◇フードバンク機能の拡大に関する市社協等との協議 □産業廃棄物 (動植物性残さ) 適正指導 [0.2 万 t]	(同左)
	⑮	☆一般廃棄物処分量 (食品リサイクル) に関する検討	☆許可基準等内規の改正	(同左)
啓発・広報等	⑯	—	◇料飲業等業界団体との協議	◇募集・認定・普及啓発
	⑰	◇206 の給食実施小中学校のうち 93 校が実施	◇本市の食育推進会議等を通じた働きかけ	(同左)
	⑱	□紙ごみの不適正搬入に対するゲンピング検査及び排出指導を実施 □準大規模事業所へのローリング訪問による啓発	(同左)	(同左)
	⑳	—	□紙類の排出量が多いスーパーマーケットを訪問指導対象として実施 (119 店舗)	□スーパーマーケットに次いで紙類の排出量が多いオフィスビル、百貨店等を中心に実施
啓発・広報等	⑲	—	※在広 IT 技術者サークルがオープンソース (5374.jp) を活用し広島市版のごみ出しアプリを制作。 ※同サークルと、市の「公式」アプリとすることについて協議中	※本格運用
	⑳	—	★イベント出展 (「ロハスフェスタ」) における、学生サークルとの連携に関する検討・協議	★学生等と連携したイベント出展 (「ロハスフェスタ」) 等の実施
	㉑	◇公民館等への貸出し	(同左)	(同左)
	㉒	■実施回数: 24 回	■9 回実施済み (9 月末時点)	(同左)
	㉓	◇地域環境指導員への活動物品配付	(同左)	(同左)
	㉔	—	—	—
	㉕	(表彰対象なし)	□大規模事業所訪問を通じ調査中	(同左)
	㉖	(各事業において実施)	(同左)	(同左)
㉗	—	○ごみ減量・資源化事例集作成の検討	(同左)	

※「平成 27 年度」「平成 28 年度」欄の取組は新規項目のみで、それぞれ前年度の事業には継続して取り組む。